

DWIBS(ドゥイブス)：MRI を用いて非侵襲的に全身を評価する検査

DWIBS は、MRI を利用して PET/CT のように体の広い範囲にわたって、癌や転移、炎症の検索、化学療法や放射線治療の効果判定などに用いる検査です。DWIBS では、癌組織などで、拡散速度が小さいという特性が利用され画像化されます(画像上黒く描出)。また、PET/CT では、悪性度の高い癌組織ほどブドウ糖の消費が多いことを利用し画像化されます。よく比較される DWIBS と PET/CT ですが、**根本的に原理が異なる**ため、全く同じ結果になるわけではありません。**どちらの検査にも得意、不得意な部位、病変がありますが**、2004 年に DWIBS 登場以来、**悪性腫瘍や転移巣の検出能は PET/CT に近いという論文が散見**されます。

DWIBS は、MRI 検査なので、放射線の被ばくが全くなく、PET で必要な前処置(放射線薬剤の接種や食事制限)が不要で、非侵襲的に検査を受けることが可能です。また、費用も保険適用で PET/CT のおよそ 1/5 ほどで金銭的負担も少ない検査です。メリットの多い検査ですが、前述したように**どちらの検査にも得意、不得意な部位、病変があるため**、症例に応じた検査が検討されます。

DWIBS は、**【全身のスクリーニング検査】**として人間ドックや健診でも受診できます。詳細はお気軽に健診部へお問い合わせください。

DWIBS の症例(実際の臨床画像)

